

受付番号：2019-1-648

課題名：子宮頸癌術後放射線治療の有効性、副作用に関する遡及的研究

1. 研究の対象

子宮頸癌に対して子宮を切除する手術を受けた方で、2013年1月～2019年6月までに東北大学病院放射線治療科にて手術後の補助治療として放射線治療を受けた方

2. 研究期間

2019年12月（倫理委員会承認後）～2020年12月

3. 研究目的

子宮頸癌手術後の補助治療として放射線治療を受けた方を対象に、有効性や副作用を明らかにすることを目的としています。

子宮頸癌手術後に再発の危険性がある場合は骨盤領域に放射線治療を基軸として手術後の補助治療を行うことが標準治療ですが、放射線治療後の後遺症の懸念から本邦では放射線治療を省略している施設も多くある現状です。そのため、日本での手術後の補助治療として放射線治療を受けた患者さんの治療成績や副作用の程度の報告は大変貴重かつ重要なデータとなります。

4. 研究方法

既に日常診療で診療録に記載された診察記録、副作用や、通常の経過観察の際に施行されたCT画像等から得られる情報を収集し、研究解析を行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、治療時の年齢、既往歴、転移再発や副作用等の発生状況を調査します。

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし。

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

山本 貴也

東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野

〒980-8574

仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL：022-717-7312

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合